

「野洲駅南口に整備予定の市民広場の活用」ワークショップ 結果報告

日 時	令和7年8月10日（日）10:30～12:10
場 所	野洲市文化小劇場
出席者	（参加者）47 名 （事務局）市長、政策調整部政策監、やす未来創造課長、やす未来創造課員
議 題	「野洲駅南口に整備予定の市民広場の活用」ワークショップ
概 要	野洲駅南口周辺整備事業の現状について説明を行い、駅前で整備予定の市民広場について、本格的な整備までの間、社会実験として暫定利用を行い、どんな使い方をすれば市民の楽しめる空間になるかについてワークショップを行った。

●参加者 ○事務局

<開会>

○開会挨拶

- ・駅前南口整備事業はしっかりと議論して進めていきます。構想策定から10年経っており、もう一度駅前全体を見直そうと今年から構想の見直しを進めています。どのような駅前が望ましいのか市民の皆様の意見も聞きながら創っていこうとしています。ただ、駅前全体の姿を示すには少し時間がかかるので、それはまた別の機会に議論する場を設けて進めていくことを考えています。全体の話をする前に本日はまずAブロック（仮設ロータリー跡地）をどう使うのかを考えたい。ここは市民みんなが集える広場的な駅前にします。どのような使い方がいいのか、そのアイデアを頂きたい。幅広く使い方の意見を出していただき、それを参考に社会実験をしながらみんなで一緒に、みんなで使う駅前を決めて進めていきます。

「野洲駅南口に整備予定の市民広場の活用」ワークショップ

<資料説明>：野洲市

<ワークショップによって得られた主な意見>

日常使い

- おしゃれなカフェやテイクアウトできる店、ビアガーデンなどの飲食店を整備
- ベビーカーで行けて子供が遊べる場所にする
- 健康遊具を設置する
- 自由に休んでもらえる芝生広場で、東屋や木陰があり、テーブル、イス、かまどベンチを設置して安らげる場所にする
- ぼーっとできる場所がいい
- ビオトープなどで自然も感じられるようにする
- BMX やスケートボードなどのXゲームが楽しめるようにする
- フットサルやバスケットボール、テニスができるコートが欲しい
- 学生が勉強できたり、企業の方も利用できるフリースペースやワークスペースがあれば便利
- 野洲のアドバンテージとして自然があるのでホテルやセミがいる場所にする

イベント

- 市民運動会
- 赤ちゃんハイハイレース全国大会
- ロボットコンテスト
- e スポーツ大会
- コンサートの定期開催
- 市内企業の最先端技術発表会
- ヘリコプターが降りてくる大規模な防災訓練や気球の体験乗船などなかなかやる機会のないことも面白そう

- クリスマスにコンサートと合わせてイルミネーションの学校対抗コンテスト、フリーマーケットも合わせて楽しめるようにする
- 月に一度のマルシェや朝市
- 異文化交流イベント（他文化交流）、少林寺拳法やエスニックなキッチンカー出店
- 学生が主体となって開催できるイベントをやりたい
- キャンプのテントが設置できたり色々体験できる場にする
- サーキットやラジコンの大会ができるコースを整備する

その他

- 災害時に防災拠点となる場所にすることも重要
- 高齢者と子育て世代のマッチングが必要であり、地域の幼稚園の散歩コースや、音楽フェスのような文化の催しがあれば他市からも JR を利用して野洲市に来てもらえる
- 万博の大屋根リングをもらってきてシンボルにする
- 「だんない広場」何やってもオツケーな空間を作りたい。乗り換えで降りた人が駅のホームから見たときに、駅の外に出たくなる楽しそうな空間づくりが大切
- 駅前ロータリーの延長による混雑緩和
- 駐車場を充実させる
- コンテナを利用して実験的な建物利用をしてみる
- 市有地だけでなく民間も巻き込んだ大きい事業に
- 近隣市の駅前には高層の建物が多いので、そことは差別化を図り、文化を成長させていくコンセプトで考える駅前にしていくのがいい

○様々な意見をいただきました。近隣市町の駅前と同じにするつもりはありません。野洲にしかないものを皆様とつくっていきたい。若い人に選んでもらえるまちにするために今後も市民のみなさまと一緒に議論していきたい。

<閉会>